

今年度の重点目標について、学校としての取り組みがどうか、職員（38名）が年度末評価を行いました。

○評価方法は次の5段階です。

A：目標を達成している。 B：目標をほぼ達成している。 C：どちらともいえない。 D：目標をやや達成していない。 E：目標を達成していない。

○項目の次にある数字が、A～Eを選んだ人数です。

△：70～75%
 ×：60～69%
 ××：50～59%
 ×××：50%未満

今年度の重点目標							A	B	C	D	E	推移グラフ	R5 年度末 評価	R6 年度末 評価	R7 年度末 評価	評価
生徒指導	自主自律 精神の養成	1	TPOをわきまえた服装・態度がとれるよう、生徒の自主的な取り組みを促し、支援する。	9	19	10	0	0		78%	68%	74%	△			
		2	面談週間や日々の生徒との会話の中で相互理解を深め、生徒自ら意見を発信、受信できる環境を授業やHRで整える。	10	22	6	0	0		85%	93%	84%				
	人権尊重 意識の向上	3	いじめ・体罰等のない安心、安全な学校を作る。	10	23	5	0	0		85%	95%	87%				
		4	あいさつの励行をはかり、豊かな人間関係と互いの人格を尊重しあう人権意識を育成する。	10	24	3	1	0		78%	90%	89%				
		5	支援を必要とする生徒へのサポート体制を充実させる。	10	24	4	0	0		80%	73%	89%				
学習指導	学力の向上	6	校内外に向けて積極的に授業を公開し、職員が相互に研鑽して授業改善に努める。	6	16	15	1	0		58%	53%	58%	××			
		7	タブレット端末を活用することで、協働学習や課題解決型学習等の要素をより一層授業に取り入れ、生徒の学習意欲の喚起に努める。	12	22	4	0	0		75%	83%	89%				
		8	教科間の連携をとりながらタスクテスト、課題等を充実させ、家庭学習習慣の定着をはかる。	5	21	11	1	0		43%	45%	68%	×			
	進路希望の 実現	9	個人面談を重視し、必要な進路情報を生徒・保護者に提供して進路意識を高め、第一志望の実現をはかる。	7	24	7	0	0		68%	75%	82%				
		10	高大連携の具体的な取組であるアカデミックチャレンジ等の探究活動を通して、生徒の興味関心、意欲を喚起し、学んだ内容を生徒の進路実現につなげる。	3	23	12	0	0		58%	60%	68%	×			
		11	学年会、職員会を通じ、進路情報や課題を職員間で共有する。	13	18	6	1	0		75%	90%	82%				
特別活動	クラブ活動 の充実	12	生徒が活動計画をたて、実践するなど、クラブ活動を通じて自主自律の精神が育成できるよう支援する。	4	26	8	0	0		83%	70%	79%				
		13	メリハリのあるクラブ活動を通じて文武両道を実現し、協力して物事を達成できる喜びと感動を体験させる。	4	27	5	2	0		63%	68%	82%				
	生徒会活動 の充実	14	生徒が活動計画をたて、実践するなど、生徒会活動を通じて自主自律の精神が育成できるよう支援する。	6	26	6	0	0		73%	80%	84%				
		15	弥生祭などの行事を通じて、地域の方々や保護者との連携をはかり、協力して物事を達成できる喜びと感動を体験させる。	8	28	2	0	0		88%	93%	95%				
開かれた学校づくり	情報の発信	16	学校HPや弥生NEWS、学年通信などを充実させ、学校の様子や生徒の活動を広く伝える。	14	18	6	0	0		88%	83%	84%				
		17	オクレンジャーを活用して、学校情報を保護者に伝える。	16	21	1	0	0		88%	93%	97%				
	地域連携の 強化	18	中学校の高校視察受け入れや中学校での説明会を積極的に行い、地元中学校との連携をはかって本校の特色を広く伝える。	11	20	7	0	0		70%	70%	82%				
		19	授業や行事など様々な場面で地域の専門家や保護者等との連携を強化する。	7	18	13	0	0		63%	55%	66%	×			

表中の%は選択肢「A」「B」を選択した割合を示す。